

令和9年(2027年)茨城高等学校・茨城中学校は
創立100周年を迎えます あと5年です

報恩感謝



次の100年に向けて

発行
茨高・茨中百周年
準備委員会
代表 種田 誠
茨高・茨中会報発行委員会
水戸市八幡町16-1
電話 029(221)4936
茨高・茨中公式ホームページ
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>
印刷 いばらき印刷(株)
題字 中島 儀昌

ごあいさつ 種田誠 ……1	百周年記念事業の概要 ……2	百周年記念募金計画 ……3	あの時 昭和34年7月27日…5
伝統と革新 梶克治 ……1	百周年記念事業実施計画…2	創立百周年記念会報計画…4	医学コース・国際教養コース…6
百周年準備委員会名簿…1	卒業生名簿の作成 ……3	創立百周年記念誌計画 ……4	飯村丈三郎と教育(1) ……8

ごあいさつ

百周年準備委員会
茨城高等学校・中学校理事長
種田 誠

令和9年4月、茨城高等学校・中学校は創立百年を迎えます。本校は、飯村丈三郎先生のご尽力により、報恩感謝を建学の精神として、昭和2年4月に開校しました。以来、建学の精神は脈々と受け継がれ、3万6200人の卒業生を世に送り出してきました。今日、本校は男女共学6年一貫教育を基本としつつ、高校からは高入生も迎えて、医学コースや国際教養コースを設け、多様な社会的要請に応える教育を実践しています。次の百年に向けて、ICT・AI教育、グローバル教育、大学との共創教育などを実現していかなければなりません。そのためにも、卒業生諸氏の物心両面からのご支援が不可欠です。ご協力よろしくお願いいたします。



伝統と革新 躍進する茨城高中

百周年準備委員会
茨城高等学校・中学校校長
梶 克治

創立百周年を5年後に控え、卒業生をはじめ、関係の皆さまにごあいさつの機会をいただきうれしく思います。

1995年に男女共学中高一貫制を導入した茨城高中は、2019年に医学コース、2020年には国際教養コースを設置しました。いずれも全国でも例を見ない最先端の教育実践であると自負しております。2021年には生徒全員が学習用個人端末(Chromebook)を持ち、海外や大学とも連携しながら探究学習を行っています。

一方で、創立者飯村丈三郎先生の遺訓でもある建学の精神「報恩感謝」の教えは、約一世紀を経て現在の生徒たちに引き継がれ、社会報恩の念に厚い真のリーダーを育成すべく日々質の高い教育活動が実践されています。

伝統と革新の融合の中、創立百周年に向けて、躍進する母校にご期待ください。

百周年準備委員会名簿 計27名

- 高校同窓会 (2名)
大津順一郎 照沼 毅
- 中学同窓会 (2名)
前田真一 佐々木幸一
- P T A (2名)
作山元子 鴨志田剛
- 蒼穹会 (1名)
谷萩陽一
- 学識経験者 (10名)
寺門祐児(元茨城県警刑事部長)
橋川栄作(茨城県営業戦略統括官)
幡谷史朗(茨城トヨタ代表取締役社長)
長谷川宗広(三勇建設代表取締役)
清水隆男(常陽銀行元取締役)
関口哲也(水戸信用金庫みとしんばら会長)
大山壮郎(天洗町観光協会事業戦略チームリーダー)
加藤雅之(公認会計士)
小野瀬剛(税理士)
- 浅井 敦(画像エンジニア)
- 理事 長 (1名)
種田 誠
- 理事 事 (学識経験者・2名)
大島章宏 鬼形正人
- 法人事務局 (2名)
宇野大輔 川田博之
- 教職員 (5名)
梶 克治 吉田尚史
岡崎謙一 加倉井東
齋藤俊幸

百周年記念事業の概要

6月29日、第1回準備委員会で確認された記念事業の概要(6件)を報告いたします。

- 1 記念式典
 - 2 記念シンポジウムの複数開催
 - 3 記念誌・会報の発行
 - 4 グローバル教育・探究活動・ICT教育の推進
 - 5 教育環境(施設・グラウンド)の拡充
 - 6 別館の新築
- 新しい教育を創出するための学習支援センターの新築
- 1 記念式典は、令和9年に実施するもので、内容はまだ具体化しておりません。
 - 2 記念シンポジウムは、令和9年の百周年に向けて、茨城高等学校・中学校主催で何度か、研究集会や講演会を実施する、ということなのです。
 - 3 記念誌・会報の発行の詳細については、本紙の4ページをご参照ください。

4 グローバル教育・探究活動・ICT教育の推進は、主に6の別館建設に関わるものです。

5 教育環境の拡充については、現在専用練習場のないテニスコート、東日本大震災以降仮設になってしまっている弓道場の建設(弓道場建設補助金あり)、洪水防止の河川改修で第3グラウンドが無くなる野球部の練習場などが候補になっていきます。教育環境の拡充につきましましては、令和9年の百周年を待たずに、取り掛かり、完成次第この会報等で成果としてお知らせしていきます。

6 別館の新築については、校舎南側の隣接地に、新しい教育を創出する「学習支援センター」の建設を目指します。用途は、①外部講師およびソフトを利用した教育システムの展開、②飯村丈三郎先生関連資料の展示、③同窓会の活用スペース、などが考えられています。

募金計画は3ページを参照。

百周年記念事業計画

八十周年(平成19年)の準備委員会の設置は2年前の平成17年6

月から始まりましたが、百周年の準備は5年前の、今年令和4年から開始します。

1 実施状況(ここまでの流れ)
令和3年度(2021年度)

- 8月校内打ち合わせ
- 12月プレ準備委員会①
- 2月プレ準備委員会②

令和4年度(2022年度)

- 4月プレ準備委員会③
- ・準備委員会委員の選出
- ・募金・記念誌委員会、先発委員の選出
- 5月理事会・評議委員会
- ・プレ準備③の協議の報告
- 6月第1回準備委員会
- ・準備委員の委任
- ・事業計画の検討
- ・募金計画・会報記念誌計画の提示
- 8月職員会議報告
- 9月第2回準備委員会(延期)
- ・募金・会報活動報告

2 実施計画(今後の流れ)
令和4年度(2022年度)

- 3月理事会・評議員会
- ・実行委員会会則の報告
- ・募金先発委員の活動報告

(卒業生名簿の作成状況)
・会報記念誌委員の活動報告(第2号の概要)

令和5年度(2023年度)

- 5月理事会・評議員会
- ・実行委員会委員組織構成
- ・記念事業の決定
- ・先発委員の活動引き継ぎ
- 6月実行委員
- ・名誉顧問、各委員の選出
- ・予算案作成
- ・各種事業の実行常任委員の選出
- 9月・会報第3号の発刊
- ・寄付金の募集(第1期)

令和6年度(2024年度)

- ・教育環境の拡充(施設・グラウンド)
- ・8年3月会館の完成
- ・記念誌編集・記念品作成
- ・補正予算・式典準備
- 令和9年度(2027年度当該年)
- 10月記念式典
- ・各実行委員会事業総括・解散式
- 令和10年度(2028年度)
- 5月理事会・評議員会
- ・決算報告

卒業生名簿の作成

6月29日、第1回準備委員会で同窓会名簿の復活が提案されました。個人情報保護法施行以後、多くの学校が名簿の作成を停止し、本校も2007年を最後に約15年間その作成を行っていません。しかし近年、個人情報の保護に配慮しつつ、同窓会名簿を復活させる学校が目立っています。中高一貫生・高入生の卒業生が次第に増加する状況の中で、本校にとっても同窓会名簿の作成は急務になっています。2007年以降約15年間の個人情報追跡調査には約1年の時間がかかります。同窓会名簿は、以前のように希望による購入を考えています。名簿作成を契機に卒業生の絆を深め百周年を盛り上げましょう。

1 名簿作成と百周年行事の始動
百周年記念の募金活動及び、会報等によるPRは、令和4年までの卒業生名簿が完成した時点で、その名簿に基づき、本格的に開始します(来年6月以降を予定)。

百周年記念募金計画

9月14日第2回準備委員会が新型コロナウイルス感染症の状況により延期となりましたが、予定通り令和5年度より募金を開始したいと考えています。そのためには、募金のベースとなる同窓会名簿を令和5年9月までに完成したいと考えています。詳細については第2回会報でご報告します。

1 募金の目的
「記念事業の概要」に示された六項目を実現するため。

2 募金目標額
3億円

3 募金の形式(予定)
個人…1口 5千円
団体…1口 5万円
法人…1口 10万円
・複数口や任意の金額も歓迎

4 募金の期間(予定)
第1期 2023年6月1日～
2025年3月31日
第2期 2025年4月1日～
2027年3月31日

5 振り込み方法
① 募金専用支払用紙に必要事項を記入の上、取扱金融機関に入金する
・学校法人への寄付は、税制上の優遇措置が受けられる。

② クレジットカード・コンビニ決済による入金方法等を検討する。

6 寄付者の顕彰
寄付をいただいた方々のご芳志に感謝し、払い込み取り扱い票に記載された名前で寄付者の芳名録を作成し、茨城高等学校・中学校に永く保管する。芳名の公表については、払い込み取り扱い票に記入欄を付け、ご希望に添って対応を考慮する。
2口以上寄付していただいた方には、記念品を贈呈するなどの対応を考慮する。

7 個人情報の保護
募金の書類に記載いただいた個人情報、茨城高等学校・中学校が責任を持って保管管理し、守秘義務を厳守する。また百周年記念募金以外の目的には使用しない。

8 募金スケジュール
2022年
9月第2回準備委員会(延期)
同窓会名簿作成の承認
会報1に募金計画掲載
10月名簿業者と契約
同窓生情報調査(物故者含む)
2023年
3月会報2に募金計画の進捗状況掲載
4月第3回準備委員会募金
趣意書の確定 HP掲載
9月同窓生個人情報調査終了
会報3に募金趣意書・要項の詳細を掲載
10月同窓会名簿完成
振り込みによる募金開始
2025年
募金第1次集計
2027年
募金第2次集計

・募金の進捗状況は、HPや会報で随時公開する。
・詳細は準備委員の募金係が実務を担う。



創立百周年記念会報計画

1 基本的な考え

- ① 百周年の事業計画の全体像と目標を創刊号で明示する。
 - ② 募金の達成状況と事業の進捗状況を各号で常時明確にする。HPでも公開する。
 - ③ 会報は紙媒体の他にHP上にも常時公開する。
 - ④ 記念誌計画の全体像・進行状況も同様に伝える。
 - ⑤ 校史資料の集約状況・その意味の紹介を行ない資料収集への協力を呼びかける。
 - ⑥ 同窓生に記事を書いてもらい、新しい校史資料を作る。
- 2 プレ準備委員会での合意事項**
- ① 百周年事業会報は年2回発行する（9月と3月。計10号）
 - ② 令和4年9月に創刊号を出す（次回は3月）
 - ③ 創刊号の配布対象：同窓会役員・地域同窓会・職域同窓会・PTA・全教職員 e t c .
 - ・同窓会名簿の作成が完結していないため、紙版は当面配布可能な範囲に限る
 - ④ 判型 A4判『春秋』と同様、

縦書き 8〜12頁とする

⑤ 内容

- ・ご挨拶 理事長・校長・同窓会長 他
- ・事業要項（事業計画と予算）
- ・同窓会名簿の作成と募金
- ・中高一貫総括
- ・思い出（10年ずつ10回）
- ・現役生の活躍 進学実績など
- ・卒業生の活躍
- ・飯村丈三郎と教育
- ・資料寄贈のお願い 他

創立百周年記念誌計画

A 本誌部分

- 1 記念誌の構成：楽しいもの・役立つものを目指す
 - ① 学校の今を明確なテーマにする
男女共学中高一貫を総括し記念誌の中心に置く 3／6
 - ② 学校史の過去を振り返る
男子校・ABCコース 2／6
 - ③ 創立者を知る 1／6
 - ④ 資料や年譜の類を多くする
- 2 プレ準備委員会での合意事項**
- ① 実行委員会組織により作成する（最終的に教員全員が関わる）。
 - ② 記念誌は男女共学中高一貫制

度の総括を中心とし生徒や教員の活動が見えるようにする。

- ③ 創立者の伝は最新研究によって見直す。「丈翁と教育」を叙述の柱にする。
- ④ 男子校時代は『50年史』を補う形で編集。資料を多くする。
- ⑤ 創立者の著作のうち「四恩の説」と「父母の巻」は生徒が使えるテキストを作るべきだ。
- ⑥ 諸機関と連携し「丈翁と教育」をテーマとするシンポジウムを市民に向けて開催する。

B 普及版別冊小冊子 便覧機能

- ① 問題の概要が分かる（入門書）。
- ② 詳しく調べられる（索引機能）。
- ③ データベースの構造と同様、創立者関係と校史関係と両方の性質を持ち、そこに接続させる機能（プラットフォーム性）。
- ④ 普及性：茨城新聞版『茨城近代化の父 飯村丈三郎の生涯』よりもコンパクトで、増刷が容易で安価なもの（30頁程度）。
- ・在庫を抱えずに新入生にも配布可能にするため。
- ⑤ アクセスの機能を向上させるためQRコードなどでHP上より詳細なデータに接続できる。
- ⑥ 内容の例：丈翁小伝・学校略

史・年表・目次・索引・参考文献表・四恩の説抜粋。

C 付録動画・画像等資料

- ① メディアの変化を想定する必要がある：DVD企画（ディスクが4GBは古くなりつつある。容量的にもブルーレイ（100GB）やUSBメモリー他の使用を検討すべき（業者に相談））。
- ② メディアに乗せる材料と再生の方法。動画についてはデスクでもパソコンでも見られる形式がよい。他資料（画像・PDF資料）はパソコン他で見える。
- ③ 動画資料・静止画資料・文書資料（PDF）資料について、まずデータベースを作成、その中から精選して付録資料とする。
- ・動画資料 「創立者飯村丈三郎について学ぶ授業」を改定して普及させる（全公開）。
- 行事などに関する動画資料。
- ・画像（静止画）資料 創立者の肖像、旧校舎、文化祭体育祭ポスター・パンフ、林間学校しおり、研修旅行資料、部誌、旧制中学時代資料他。
- ・PDF資料 飯村丈三郎の著作・行事・部活の記録他（以下略）。



昭和35年卒 根本 芳邑(12回)

創立百周年おめでとうござい
す。長い歴史の中で、昭和34年、
我が茨高野球部の、夏の茨城県大
会決勝進出は、直近の最後の出来
事であり、当時のメンバーのひと
りとして、記憶の限り記させて頂
きます。当時我が茨高は強豪校で、
何度も甲子園に今一步のところ
で敗れました。昭和34年は第41回大
会で、当時の参加校は36校でした。
現在は96校(93チーム)です。

昭和32年、第39回大会は大きな
チャンスでした。当時は群馬・栃木・
茨城の北関東大会に、優勝・準優
勝の県代表2校が出場しました。
毎年群馬県勢が強かった記憶が
あります。茨高はエース・梅原投
手を擁し、4回戦準々決勝まで進
みましたが、土浦三高に苦杯を喫
し代表になれませんでした。エー
ス梅原投手は翌年国鉄スワローズ
(現ヤクルト)に入団しました。
翌年第40回大会は記念大会で1
県1校です。大きなチャンスが訪
れ今度こそと思いい夏を迎えまし
た。この年投手は、鴨志田・吉川・
柘植と3本柱が健在でした。間違

いなく夢が届くことを信じ順調に
勝ち進みましたが、準決勝で日立
一高に完敗しました。しかし嬉し
いことがあります。今でも語り
草になっていきますが3回戦で吉川
投手が準完全試合を達成、完全試
合まであと1人のところで内野に
エラーがあり達成できませんでし
た。しかしノーヒット・ノーラン
で歴史に残る記録です。この時の
鴨志田投手は広島カープに入団、
2年連続のプロ入りでした。

いよいよ私達の時代がやって来
ました。昭和34年、第41回大会で
す。この年、大きな出来事が2つ
ありました。1つはこの41回大会
から今までの北関東大会が、東関
東大会に変更されました。茨城県
の優勝校と千葉県の優勝校が対決
し代表を決めることになったので
す。茨城県が有利だという下馬評
がありました。大きなチャンスが
訪れました。もう1つの出来事は
新監督の誕生です。それまではO
Bの方に毎年交代で指導して頂き
ましたが、新監督はOBの原田さ
んが事務に就職され、学校関係者
が指揮することになりました。こ
れは大きな喜びでした。専属監督
の指導の下で厳しい練習が待つて
いました。OBの方の場合、特に
冬は顔を見せないの、適当なト
レーニングでしたが、今回から足
腰強化のため常磐神社の階段昇
り、八幡様の往復ランニングと、

「地獄の冬」を過ごしました。

秋季大会、春の大会も終わり、
夏の大会を迎えました。2年連続
夢が実現出来ず、「今年こそ」を
合言葉に突入しました。投手は柘
植とリリーフ田中が順調な仕上が
りを見せ、打線も絶好調でした。
1回戦はやはり緊張があったと思
います。高萩高に9回まで5対
5、9回裏に1点を取りサヨナラ
の辛勝でした。第2回戦は太田一
高戦で記録的な猛攻により15対2
でコールド勝ちです。3回戦は水
戸一高戦でしたが日没再試合によ
り、5対3で勝ちました。柘植・
田中の投手陣も好調でした。打線
も投手に負担をかけないように点
数を取りました。準々決勝は江戸
崎高で守備の乱れがあり9対8の
辛勝、九死に一生を得、準決勝に
進出しました。連戦連戦で優勝候
補の一角、取手三高との対決です。
激戦でした。延長で2点を取り4
対2で制しました。候補破り校は
甲子園一直線の筋書きがあり、校
歌も朝日新聞社に送ったそうです。

いよいよ決勝です。茨高勝利の
評判は動かず、下館一高はダーク
ホースにもなれませんでした。楽
勝ムードでしたが、意外に投手富
田のシュートの切れが良く、手も
足も出ず完封負けでした。チャン
スは3回ほどありましたが、拙攻
が響き夢破れました。関係の方々
の期待を裏切った思いを強く感じ

ました。連戦連戦で精魂尽き果て
た感じでした。日程は7月16日か
ら27日までで左記の通りです。

- 16日1回戦 対高萩 6対5
 - 20日2回戦 対太田一 15対2
 - 22日3回戦 対水戸一 4対4日没
 - 23日 対水戸一 5対3
 - 24日 雨天ノーゲーム
 - 25日準々決勝対江戸崎 9対8
 - 26日準決勝 対取手二 4対2
 - 27日決勝 対下館一 0対3
- 延長10

今後のお願いととして、広い他校
を招待できる自前のグラウンドを持
てるようお願いしたい。昔から強
豪茨高と言われておりました。そ
の復活を、心からお祈りします。

余録

直近において、平成18年秋の大
会で、当時の監督・現内山部長の
時代に、現
岡部監督の
快投により
準々決勝に
進み、21世
紀枠の候補
になり、球
場にOBが多
数結集され
たことを鮮
明に覚えて
います。



医学コース・国際教養コース

●医学コースの取り組み

本校の医学コースは、医学部、医療系学部進学を目指す生徒たちの支援を目的に2019年に発足しました。通常の授業とは別に、土曜日の午後や、長期休業中などに、中学3年生から高校3年生を対象に学年に応じた講座やプログラムを設定しています。

医学部進学は、高い学力と同時に医師としての適性を兼ね備えることが求められる、生半可な心構えでは実現困難な道です。本校の医学コースでは、まず、医師になりたい、医療職に就きたいという明確な意思、モチベーションを身につけさせることを目標にしています。医学部合格に必要な学力を養成するうえで、目標実現への強いモチベーションが生徒たちの力となります。現在、医学コースには、中3生32名、高1生53名、高2生34名、高3生26名が在籍し、目標を同じくする生徒たちが学年を超えて、互いを支え合い、切磋琢磨し合って活動しています。本校医学コースは、2020年

に国立病院機構水戸医療センターと連携協定を結びました。国立病院機構と学校が連携協定を結ぶのは、全国でも先例のない、最先端の取り組みです。この連携協定により、医師の先生方による講座の開設や病院施設の見学、病院職員の方々と生徒の懇談など、現実の医療現場を目にし、その空気を感じる体験が可能になりました。医学コースでは、水戸医療センター以外にも、数多くの医療機関や研究機関、大学や卒業生の協力をいただきながら、質の高い知的体験、本物を見る機会を生徒に提供して



医学コース

います。

医学コースという、茨中茨高の新たな挑戦のなかで、生徒たちは日々成長し、夢の実現に向けて一歩一歩進んでいます。

●国際教養コースの取り組み

国際教養コースは2020年度に新設された独立コースです。高2で約半年間の留学を必須としていること、一般コースとは異なる独自カリキュラムを導入していることが大きな特徴で、地域でも他に類を見ないユニークなコースです。

1・2期生の留学先はカナダです。1期生はコロナ禍で渡航が危ぶまれましたが、困難を乗り越えて留学生活を終え、今年1月に無事帰国しました。生徒たちは、異国の地での様々な有意義な体験を経て、逞しい人間になって帰ってきました。英語力も飛躍的に伸びし、多くの生徒が英検準1級に合格しています。県のプレゼンテーションコンフォラムで準優勝もしました。2期生は現在留学中で、同様の素晴らしい体験をしています。

カリフォルニア大学デービス校(UC Davis)からサポートを受けているのも特徴です。同大学国際教育センターの藤田斉之先生が、



国際教養コース
成田空港からの出発

アメリカからZoomで繋いで、コース生を対象に週1回特別授業をしてくれます。単に「語学ができること」に留まらない真の「グローバル人」を育てる啓蒙的な授業です。一般生徒向けにもUC Davis主催の特別プログラムが開催され、アメリカの一流大学の授業を体験しました。

独自授業には、他にもネイティブ教員による「Practical English」の他、「哲学」「日本文化」「グローバル社会論」「協働探究授業」等があり、どれも現在の教育界の最先端である「探究」「ICT」「英語」を利用した意欲的な授業になっています。このように様々な取り組みに果敢にチャレンジしながら、新しい伝統を築き上げようと一歩ずつ歩みを進めています。

現役生5カ年の進学実績

<国公立大学>

	2018	2019	2020	2021	2022
東京大学	2	4	3	1	
京都大学	2				2
北海道大学	2	1	4	6	1
東北大学	9	4	10	3	3
名古屋大学	2	1	3	1	
大阪大学	1				1
九州大学	1		1		
筑波大学	14	8	3	6	5
茨城大学	21	31	20	22	28
千葉大学	2	2	5	3	1
新潟大学	2	1	1	4	1
金沢大学	2	1	2		3
信州大学	1	2	4	4	4
東京都立大学		1	1	2	5
その他国公立大	50	52	45	51	44
計	111	107	101	101	93

<私立大学>

	2018	2019	2020	2021	2022
早稲田大学	15	12	10	2	6
慶應義塾大学	13	7	6	2	4
上智大学	5	2	1	3	5
東京理科大学	37	19	18	19	17
学習院大学	3	1	2	4	3
明治大学	23	19	15	17	8
青山学院大学	3	4	3	10	7
立教大学	8	3	13	11	11
中央大学	16	11	12	17	20
法政大学	12	8	11	16	21
関西大学	2	3			1
関西学院大学	2	3	2	4	4
同志社大学	4	4	7	5	3
立命館大学	5	10	9	11	13
明治学院大学	8	3	6	12	6
芝浦工業大学	22	21	15	50	13
日本大学	28	32	37	29	16
東洋大学	17	18	16	8	20
駒澤大学	6	1	4	6	3
専修大学	9	9	11	5	16
東京女子大学	5	6	4	1	8
津田塾大学	5		3	5	2
日本女子大学	6	7	6	3	8
東京慈恵医科大学					1
自治医科大学				3	4
岩手医科大学	1				2
東京医科大学	1	1	2		2
聖マリアンナ医科大学	1				1
獨協医科大学	1	4	1	2	6
東北医科薬科大学	3	4	1	3	1
東京薬科大学	4		3	4	5
明治薬科大学		1	2		3
昭和薬科大学	2	4		2	
その他私立大学	60	62	69	67	49
計	327	279	289	321	289

<国公立大 医学部・医学科>

2018	山形大学	1名
	筑波大学	1名
	千葉大学	1名
	宮崎大学	1名
2019	東京大学	1名
	筑波大学	2名
	群馬大学	1名
	防衛医科大学	1名
2020	北海道大学	1名
	秋田大学	1名
	山形大学	2名
	島根大学	1名
2021	弘前大学	2名
	愛媛大学	1名
	佐賀大学	1名
2022	弘前大学	1名
	金沢大学	1名
	香川大学	1名



棺桶に半分足を突っ込んだ今頃になって、学校創立を思い立つなんて、これは自分の考えではないよ。何かしら人間には判らない大きな力が自分を動かして、今になって思いつかして下されたと、心からありがたく感じている。

(穴沢清次郎「本校創立の由来と丈翁の述懐」の丈翁の回想)

飯村丈三郎翁は、第1回第2回の衆議院議員として活躍し、現常陽銀行の前身・第六十二銀行を再建、東京と茨城を最初につないだ水戸鉄道の設立に発起人として参加、『いはらき』新聞を再建、日立興業会社、入山採炭株式会社、東京精米株式会社、日本火災保険会社、大和保険株式会社、東京製絨株式会社、帝国冷蔵株式会社、帝国石材株式会社、日華生命保険会社、興業貯蓄銀行など数多くの会社の設立・経営に参加した。茨城の近代的なインフラ創設のほとんどに関わった、と言っていい。政治家・実業家として知られた

丈翁の、茨城中学校の創立に至る教育事業への参画は晩年のことだ。

しかしながら、丈翁の生涯を改めて通覧してみると、非常に若い頃から「教育」に関わりを持っていたことがわかる。より細かく見ると、その関心は彼の全人生に及んでおり、茨城中学校の創設までに実に用意周到に準備をしていたことが分かってきている。その意味で茨城中学校は、まさに彼の生涯の集大成であつたらしい。

「ひと」を作ることが「教育」ならば、「もの」と「かね」と「ひと」を使って、「もの」を作り「こと」をさせ「ひと」を育てた丈翁の行動は、そのすべてが「教育」だと言える。しかしこの考えをひとまづ置いて、狭義の「教育」と丈翁との関係を考えてみる。若年時を描くこともあり、ここから丈翁を「飯村」と呼ばせていただく。

飯村が最初に公職に就いたのは明治5年19歳の時のことだった。明治9年の出来事を、立見四郎が記している。

回顧すれば明治9年、予は学務官吏として、下妻市庁にあり。小学校巡視として至る。翁はその頃戸長を勤めおり、余を出向

かう。余は突然当区学資金(寄付の集積で教員の俸給に充つるもの)未納を責む。翁答う『納まらぬものは納まらぬ』と、その態度すこぶる平然たり。予翁が青二才にて長靴を穿ちたれば、此生意気めがと思ひ『納まらぬから納まらぬとは何だ』と憤然たり。

(西村文則『飯村丈三郎伝』より)

「長靴を穿つ(長靴を穿く)」は隠語で上訴することを言う(『日本国語大辞典』)。

その日は雪になり、飯村は立見を自宅に泊め、夜話が弾んで旧知のような間柄になる。明治11年25歳で飯村が茨城県第三十六番中学区の学務取締役となるのはこの立見の推薦によるもので、以後飯村は公人としての道を歩んでゆく。

当時の小学校は寄付によつて教員の給与を賄っていた。飯村は公職の最初から、苦勞してその取り立ての仕事をしていたわけで、これは飯村の晩年の育才会再建の募金集めに通じる行動だ。

立見との関係はその後も続き、明治22年飯村36歳の時、安田定則知事が、弘道館保存のために同所を県内初の私立幼稚園・水戸幼稚

園とすることを決定した時、飯村は発起人総代の一人となり、開設準備に当たつた発起人の立見を助けている。飯村の日記には、「水戸立見へ三十五円送ル」(大正7年11月25日)、「水戸立見へ送金ス」(水戸立見へ幼稚園ノ件申送ル」(大正8年10月6日)などの記事が見え、資金難にあつた幼稚園にその後もしばしば援助を行つていた様子がわかる。飯村は大正10年の閉園までこの幼稚園を援助し続けることになる(『茨城近代化の父 飯村丈三郎の生涯』の額賀せつ子氏の記述を参照した)。

飯村は明治24年『いはらき』新聞社社長となるが、『いはらき』新聞は中学校増設問題(明治27年)や水戸高校創立問題(大正8年)について長い論説を掲げている。

キャリアの初めに教育行政関係の下部に携わつた経験が、飯村の教育への目を開いたようだ。(K)



会報編集

加倉井東他 校内百周年準備委員会